

①

凄いぞ！吸玉・カップリング療法

スーパー？健康法！



カップリングの治癒例を話すと、どなたも決まって「ウソー」という目になります…
そのくらい常識との、吸玉の治るギャップは大きいわけです。
たとえば、帆船でアメリカに行くところと比べ、今日のジェット機のスピードは比較になりません。
日本を北から南に歩くより、新幹線の速さは圧倒的です。スコップで掘るよりショベルカーの穴掘りは圧倒的です。

このような異次元の世界が、カップリングなのです。・・・

新人のコロンブスさん 大募集！

頑固な自覚症状や頑固な病気が、吸玉で意外と簡単に治ります。
しかし、吸玉は、見かけだけで非科学的な野蛮な治療と云われます。



見かけだけで馬鹿にする人に、太陽は今も東から西に動き、天の方が動いているのかと問うと、・・・

そうではなく、太陽の周りをまわっているのは地球の方だと言い、科学的に証明されている常識だといいます。

それなら吸玉も、ぜひ科学的にみてほしいのです。
人の体は、「強アルカリ性」になって腐敗します。
そして、吸玉の丸い跡から出る体液も、科学的に分析すると「強アルカリ性」です。
・・・これを「瘀血(おけつ)」と、黒岩東五は云いました。

この瘀血を取り出すことにより、どうしてもとれない頑固な自覚症状がとれ、どうしても治らない頑固な病気も治りません。・・・



昔の人たちは、地球はまっ平で、海の先は滝のように落ちていると考えていました。
しかし、コロンブスは、海の先に行くと又この地に戻ってくると云ってアメリカを発見しました。

科学にこだわる人に、吸玉の科学的な浄血原理を説くと「そんなに良いものなら、なぜ世の中に広がらないのか」と、科学的とは思えない皮肉をいわれます・・・

その気持の裏には、臓器移植ができるほど現在の科学は進んでいると言いたいのです。
ですが、心臓でも腎臓でも、いきなり移植が必要になるわけではありません。
生活習慣病は、さまざまな歪が30年も40年も積み重なって起こります。
ですから、臓器移植に至るまでに内臓の弱った状態が長期にわたって存在するのです。



つまり、移植をする前に、内臓の弱った状態を治す機会はいくらでもあるわけです。そして、それが出来れば移植も必要ないわけです。

吸玉の丸い跡の科学的分析は、公には世界中まだ誰もやっていません。
これを公の立場でやり、それを正当に評価して公表したら、その衝撃は、コロンブスの新大陸発見並み以上かとおもいます。

ぜひ私のホームページを読み、一人でもいいです。苦しむ人のために、新しいコロンブスになって新世界を開いてほしいです。

吸玉療法の特徴は、自覚症状が取れることです。
それも、自覚症状のとれ方が普通ではなく“劇的”なのです。

自覚症状とは、身体に起こるこりや痛み、しびれや痒みなどで、・・・
食欲不振や倦怠感、便秘や下痢、めまいや不眠、咳やくしゃみ等、自分で感じる事の出来る体の異常です。

あなたはこれを信じられますか？

打撲傷の痛みが・・・



自覚症状のなかでも特に多いのが、痛みでしょう。
そして、カップリングは、この痛みがとともよく取れます。
痛みといえば、打撲傷です。
打撲傷の、今でも印象的な話があります・・・

朝から、電話がありました。・・・
二階の階段を頭から転げ落ちたといいます。
私は驚き、それはまず病院に行かれたほうが良いと応えました。ですが、まず、吸玉をしたいとおっしゃいます。

この方はそれまでも何度か打撲をしており、そのつど吸玉で治していました。
その日は定休日でしたが、それならと、とにかく来ていただきました。・・・



息子さんに抱えられて来られ、みると骨折はないようで、痛がる箇所にカップリングすると顔にも血の気がもどり、痛みも楽になったと帰られました。
翌日も待っていましたが、来られず、入院されたのか心配していましたが、その次の日にはいつものように来院され、昨日は仕事で福岡まで行ってきたとおっしゃるのです。・・・

驚くのは、この方は10や20の若者ではなく、来月には77の喜寿を迎える方なのです。

打撲しても、すぐにカップリングするとすぐに痛みがとれ、ほとんど腫れることもありません。

通常、打撲をすると腫れあがります。そして、日に日に痛みも増してきます。
しかし、そんな痛みも、カップリングするとビックリするくらいよくとれます。



5日前にしりもちをついたとって来られた方がいました。・・・
打ったのはお尻なのに、翌日には足も腫れだし、頭も痛みだして、手も震えだし、箸も握れないほどになってきて、日に日に腫れと痛みがひどくなり、座薬を使っても痛みがとれず、薬が切れるとすごい激痛になるといいます。
しかし、カップリングを1回しただけで座薬が要らなくなり、次に吸玉をした後には本人も驚くほど痛みが楽になったとおっしゃっていました。

そして、1週間もすると足の腫れもひき、その後、首の震えも手の震えもとれてしまいました。
打撲をすると腫れと痛みが日に日にひどくなるのは、打撲した箇所が“瘀血状態”になるからです。

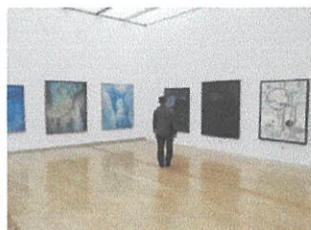
そして、カップリングすると、その瘀血(おけつ)がとれるから痛みが“劇的”にとれるのです。

劇的に治る！骨折

カップリングの仕事の始めたばかりの頃、伝手を頼って長崎県内を回っていました。
同じ所に、週に1度か2度通って無料でカップリングをしていました。・・・
そんなしていた頃、ある家族の方に、おジイさんの骨折が今の骨折だけでなく、グズグズ治りきらなかった前の骨折まで良くなったと、大変喜ばれたことがありました。

私の母の例です。・・・

買いもの帰りに重い荷物をかついで、人ごみに押されて転んだそうです。



左上腕を骨折して、体の左側が、腕から胸から背中までドス黒くうっ血して腫れ上がり、腕を少し動かすだけで痛がって施術ベッドに上げるのにも大変でした。

しかし、カップリングして3日もすると腫れも痛みもひきだして、10日もすると痛み止めもいなくなり、カップリングを始めて11日目のレントゲン検査では、もう骨が繋がっていると云われたそうです。

加齢とともに骨の回復は遅くなるといいますが、母はその時86歳でした。



私のカップリング歴40数年、骨折はカップリングで“劇的”に治る印象です。

こんな治癒例を話すと、どなたも眉唾物みたいな見方になります。

そのうえ吸玉の科学的な浄血原理を説くと、・・・

「そんなすごいものなら、なぜ世の中に広がらないのか」と皮肉られます。

吸玉の治り方が眉唾物に見えるほど凄いのなら、放っておくわけにはいかないでしょう。・・・



しかし、どうやれば分かってもらえるのか？・・・新人のコロンブスさん・・・いけば、大募集したいです。

打撲してうっ血すると、うっ血は強いアルカリ性になって瘀血化します。・・・

瘀血とは、血管に戻れなくなった血液のことです。

この瘀血があると、正常な血液の循環を妨げ、打撲の治りを悪くするのです。

しかし、カップリングをすると瘀血がとれ、打撲も骨折も“劇的”に治るのです。

痛みの病気も・・・

病気は、痛みを伴うことが多いようです。

又、痛みそのものが病気ということもあります。



四十肩、五十肩、神経痛、带状疱疹、リウマチ、・・・

なかでも、リウマチの痛みには驚いたのは、姪のときです。

姪が高校生の時に、肘や肩や手首がひどく痛むとって母親に連れて来られました。

しかし、痛がる様子が普通ではなく、一応病院に行ったほうがいいと話し、病院に行くと、リウマチといわれたそうです。

そして、帰り際に、リウマチは一生の病気だといわれたそうです。



希望していた美容学校の入学が決まって、喜んでた矢先のときでしたから大変驚きました。

とにかく、その痛がりようが半端ではありませんでした。・・・

ひどいときには痛み止めを飲んでも痛み、動けなくなり、学校にも行けなくなり、11月から12月にかけて寒さが増すとさらに痛みが増して、リウマチの痛みはこんなに凄いかと強い印象が残っています。

しかし、吸玉は痛みという自覚症状をととてもよくとります。

姪も、カップリングした後は痛みが楽になるといって続け、2か月過ぎた12月半ばころには痛みがひきだして、年が明けると段々痛み止めもいなくなりました。・・・

そして、桜が満開になった4月には、無事に希望していた美容学校に入学することができたのです。

もっと凄い例もあります・・・

平成24年11月末に、体中が痛いといわれて来られた方は、9月初めに五十肩といわれ、あれこれ治療しているうちに両手両足が痛みだし、そのうち全身が痛みだして、詳しい検査をすると関節リウマチといわれたそうです。

ところが、激痛で歩くのさえままならぬ状態が、カップングを1回ただけで歩けるようになり、2週間ほどで200の炎症度が半分になり、年明けには痛みがとれてしまったとおっしゃるのです。

そして、2か月もたたない1月の半ばの検査で、リウマチがもう治っていると大学病院で太鼓判を押されたそうです。



痛みは薬では治りません。

薬は、ただ神経に作用して、痛みを一時的に軽くするだけの、緩和薬です。薬を飲んで、痛みを実際に治しているのは、体自身の自然治癒力です。ですから痛みが慢性化すると、緩和薬が効いている間はよくても、薬が切れると又痛みがぶり返してくるのです。

また、自然治癒力の力が落ちると痛みがとれにくくなりますし、自然治癒力が無くなると、痛みがとれなくなってきます。

そうかといって、神経に作用する薬を使い続けると繊細な神経は傷みやすく、治らないからと無闇に薬を使うと神経が麻痺してバカになり、だんだん手も足も動かしくなくなっていくます。そして、転びやすくなります。



そして、本当にバカになってしまうと、本当に動かなくなってしまつて、寝たきりになるのです。

検査で異常がなくても、痛みが出る場合があります。それを、東洋医学では「未病」といいます。

東洋医学の“未病”とは、まだ病気ではないが、病気が起こるかもしれない状態のことです。

生活習慣病は生活習慣の歪が長い期間積み重なって起き、ある程度ひずみが溜まってくると、まだ病気ではなくても自覚症状が出る場合があります。これを東洋医学では“未病”というのです。



未病から病気に発展させないことが大切で、未病の段階で病気の予防ができれば臓器移植も必要なく、痛みをとることはその決め手になるのです。

吸玉は見かけだけで野蛮な治療といわれます。・・・

ですから、激しく痛み、検査しても異常がなく、しかも何をしても治らない、そんな、お手上げ状態の人しか吸玉はしません。・・・しかし、そんなお手上げ状態の痛みでも、吸玉は劇的といつていいくらいによく治します。

こんな話をすると、ウソつきみたいに見られます・・・

そんな目をされるとつい相手に合わせて話してしまいがちですが、このように文章に起こすと、改めて凄いやり方に驚きます。



聞く人が“嘘”と感じるくらい凄いのなら、これを活用しない手はないでしょう。・・・現代人が苦しむ、寝たきりや痴呆症や、がんや脳血管障害、心臓病や腎臓病、そしてアレルギーやうつ病や原因不明の病気に、ぜひ活用できるようにしたいです。

痛みだけではなく、現代人が苦しむ生活習慣病にこそ、カップングは活かすべきです。・・・

そして、その話は、まず黒岩先生の話から始めなければなりません。・・・

黒岩東五・・・元健康医学社社長・元健康医学協会会長・・・私にとってはカップングの師匠、先生です。



昭和16年7月、先生は、死の淵に立たされていました。

当時結核は死の病といわれ、先生の入っていた療養所の仲間も次々に亡くなり、まさに次は自分の番だというときに、先生はあることに気付いたのです。

それは、結核になっていたのは左の肺だけで、右の肺は正常だったことです。

「結核は結核菌が原因といわれるが、それなら、なぜ左から右の肺に菌が感染しないのだろうか?・・・」

「人に感染するほどの菌なら、自分の肺から肺に感染するほうがよほど容易いだろうに」と、考えたのです。

さまざまな医学書を読む中で、「**酸塩基平衡の学説**」に目を奪われました。

血液が酸とアルカリのバランスを保つときは、たとえ病原菌が入ってきても発病しないという説です。



それに、東洋医学の**瘀血**です。・・・瘀血(おけつ)とは、**動かない血液**のことです。

左の肺には瘀血があり、そこに菌が繁殖して、右の肺には“瘀血”がないのだ。

左の肺の瘀血をとるために、吸玉をためてみました。・・・

吸玉を皮膚につけると、吸玉の丸い跡が”真っ黒”く残りました。・・・

そして、そこから直接瘀血を取り出してみると、タール状のドス黒い“瘀血”が出てきたのです。

カップングを続けて1年半・・・左の肺の空洞は消えてしまいました。

今は菌を殺す抗生物質があります。しかし、この事実は、生活習慣病を治す大きなヒントになります。

吸玉は、自然治癒力を劇的に活性化させる、“健康法”なのです。

健康法は昔からごまんと存在し、どんな健康法でも病気を治すことは可能です。・・・それは、人の身体には自然治癒力が備わっているからです。

自然治癒力は、さまざまな方法で活性化する仕組みになっており・・・ですから、健康法は昔からごまんとあるわけで、しかし、同じ健康法でも、**カップングは異次元の世界**なのです。・・・まさに、**スーパー健康法!**なのです。



たとえば、帆船でアメリカに行く頃と比べ、ジェット機で行く今のスピードは別格です。

日本を北から南に歩くより、新幹線の方が圧倒的に速いです。スコップで掘るよりショベルカーを使った方が圧倒的に早く穴が掘れます。

このような異次元の体質改善が出来るのが、カップングなのです。・・・

そして、それが出来るのは、・・・

瘀血を直接体の中からとり出すことができ、とり出した**瘀血を目で確認**ことができ、そして、その**瘀血を科学的に分析**することも出来る、

・・・からです。

⇒⇒**進化した吸玉～真空浄血療法**へ続きます

2

進化した吸玉 ～ 真空浄血療法 吸玉の可能性を探る

カップリングを始めたころ、実演販売のために、無料でカップリングをしながら長崎県内を回っていました。



その頃から、自覚症状がよくとれるというのが、私のカップリングの印象でした。そして、その頃から、常識では考えられない先生の病気の治り方がいつも頭の片隅にありました。

皮膚の表面にカップリングをするだけで、内臓の病気が、しかも、手術を要するほどの病気が治るのか？

カップリングして、自覚症状がよくとれるのを見るたびに、それを確認したい気持ちになりました。・・・

昭和52年からの2年間、慢性肝炎で入院していた方が、病気が治らなければ会社の規定で、あと半年で仕事を止めなければならないというときに、何でもいいから、治るといふものがあるならやってみようと、思い切って退院されたそうです。

それは療養所で悶々としていた黒岩先生の心境と、通じるものがあったかもしれません。



初めてカップリングに来られたのは、昭和54年6月のことでした。

そのときは、とにかく体がきつとおっしゃっていました。

それに、体が重くてだるくて気力がなくて、夜眠られず、便秘がひどくて食欲がなく、肩がこり、背中がだるくて腰が痛くて頭痛がして、手足が冷え、ススけたような肌は異様な色をしていました。

カップリングを始めたばかりのときは、カップリングするとよけいに疲れるとおっしゃって、しばらくベットから動けずにいるほどでした。

しかし、吸玉を続けていくうちに、徐々に、疲れが違ってきた・・・疲れなくなってきた・・・元気が出てきた・・・とおっしゃるようになり、肌の煤けた黒ずみもとれてツヤと生気が出てきました。



そして、食事がおいしくなった。通じがよくなった。手足が温もるようになった。眠れるようになった。肩こりが楽に、背中が、腰が軽くなったとおっしゃるようになりました。このように自覚症状は、**体質が悪化すると増え、体質が改善されると減る**ものです。

この方は、検査値を几帳面に記録していました。

入院中一度も正常に入らなかった値が、吸玉を始めたすぐは上昇しましたが、その後下がりました、一月もするとどんどん下がって、その一月後には正常値に入ったのです。

そして、その値が安定したのを見て、会社の規定ぎりぎりの10月8日に、仕事に復帰できたのです。

ふたりで、難関を突破した受験生のように、手を取り合って喜び合ったのは、まだ昨日のこのようです。

慢性化した病気を治すには、自覚症状をとることが決め手になります。

自覚症状をとれば、春に雪解けがはじまるように、病気は自然に治るものなのです。



これは、決して大げさに誇張した話しではありません。最初来られたときは肌も土気色で見るからにひどい状態でした。

そのうえカップリングする度にきつといつて寝込み、検査値まで上がったと言うのです。・・・カップリングの治療を始めたばかりのころでしたから、生きた心地などなかったのです。

しかし、1週間もすると、疲れが違ってきたとおっしゃって、検査値も下がりだし、その後みるみるよくなっていったのです。



みるみるとは、目に見えてハッキリ・・・顔色も良くなり、声も明るく大きくなり、とぼとぼ歩く背筋も伸びて、元気になると眼の光、髪の色艶まで違っていくのです。

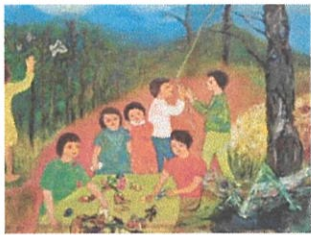
・・・奇跡といってもいいくらいではないでしょうか！

ウソと云わなくても、たまたまだろうと言われることもあります。が、・・・昭和63年10月に来られた方が、翌年の9月になって、子宮筋腫が昨年より大きくなっていると云われ、私はこのとき初めてこの方に子宮筋腫があることを知りました。前の年に来られたときは、右肩から肘が、こるのを通りこしてたまらなくうずくとおっしゃっていました。

体もだるくて疲れやすく、痰が咽にしじゅう絡んでうっとうしく、寝つきが悪いうえにトイレが近くて夜中何度も起きなくてはならず、グッスリ眠れないとおっしゃっていました。

便秘がひどくておなかが張り、風邪もよくひき、一旦ひくと一月も二月も治らないとおっしゃっていました。しかし、翌年の9月のこの時点では、肩から肘のうずきもとれ、疲れやすさもとれ、夜も眠られるようになって、つらい状態はかなり改善されていたようでした。

私は黒岩先生の結核の治り方がいつも頭の片隅にありましたから、・・・



この時もこの方に「できれば、筋腫がとれるくらい治療を頑張ってみませんか」と話してみました。

肺に穴が開いた結核とは、病気の性格は違うかもしれませんが、お腹を開くわけでも、切り取るわけでもなく、皮膚にカップングするだけで、もし内臓に出来た腫瘍がとれるなら、やはり常識を超えていますし、その確認をしたいと思ったわけです。

この方は、それまでより熱心にカップングをされるようになりました。

そして、その分さらに元気になりました。

それまでは、真っ先に風邪をひいて、家族中にうつしていたのが、その冬は、家族中がひいても、自分一人ひかなかつたとおっしゃっています。

それに、それまで飲んでいた甲状腺の薬も血圧の薬も要らなくなった。・・・つまり、治ったわけです。

そして、ちょうど一年後の検査で、こぶし大の子宮筋腫が消えていたのです。

スーパー健康法

平成2年の梅雨の頃に、電話がありました。・・・

心臓発作で入院し、危篤状態を脱してなんとか退院をしたが、体中が痛くてたまらないとおっしゃいます。

それに、右半身がしびれて冬でもないのに足腰が冷え、頭痛と耳鳴りがひどくて、食事も入らないとおっしゃいます。便秘がひどくて、尿が出にくく、夜眠られず、動悸がすると心臓が止まりそうで怖くて外出もできないとおっしゃいます。



元々この方は掛け持ちで商売をされていて忙しく、疲れたり、体にこりや痛みがおこると飛んで来られて、カップングの良さをよくご存知でしたから、出張治療をしてくれないかとおっしゃるのです。

そのころ、出張はやっていませんでしたが、なんとか、なんとかと何度もおっしゃるものですからとにかくお伺いすることになりました。

このころ全国に寄付を募ってアメリカで心臓移植をするニュースが大きく報道されていた頃でしたが、・・・

出張をしてカップリングすると、すぐに食事が入るようになり、眠られるようになり、1週間くらい出張したでしょうか、ひどい動悸もおさまって心臓が止まりそうな恐怖感も薄れて、ご自分でカップリングに来られるようになりました。



夏の暑い盛りに向かい体調を崩されることもありました。元々が最悪の状態でしたから、良かったり悪かったりもありました。

ですが、最初訴えられていた体中の痛み、右半身のしびれ、足腰の冷え、頭痛、耳鳴り、食欲不振、便秘、排尿困難、不眠、動悸などの自覚症状はとれていき、そして、生活するにもずいぶん快適になっていきました。・・・

そして、10ヵ月後の翌年の3月のことです。・・・
検査の帰りだとおっしゃって、いつもと様子が違ってました。

それまで悪かった心電図も血圧の値も正常になっていたそうです。・・・
そして、肥大していた心臓が元に戻っていると、医師が昨年のレントゲンと比べて驚いたように説明してくれたそうです。
・・・話しながら、天にも昇るような喜びようでした。



心臓で倒れる前に、胆石が見付かって手術の予定になっていたそうです。
手術をするために改めて5月に検査をしたところ、検査はいつもより随分時間がかかったそうです。よほど悪くなっているのかと心配したそうですが、実は胆石を探すのに手間取り、結局、胆石がなくなっていたのだそうです。

胆道の石は流れても、胆のうの中の石は滅多にとれないと言われたそうです。

つまり、この方は、わずか10ヵ月で、危篤状態に陥るほどの心臓病を治し、高血圧も、胆石も、治したわけです。

・・・これ、みな凄くないですか？ ・・・これ、奇跡とっていいスーパー健康法！ じゃないですか。
常識からみると、信じられない話ばかりのようで、こんな話をすると、ウソつきみたいな目で見られ、変人扱いをされます。
しかし、皆これ嘘でもなんでもない紛れもない本当の話で、カップリングをやっていると日常的な普通の出来事なのです。
私は40年間こんな奇跡的な治癒例ばかりを見てきて、普及活動も真剣に熱心にやってきました。

しかし皆さん、ウソでしょう、たまたまでしょう、と・・・ただお経のように聞き流すばかりです。
どんなに大切なこともその価値を理解する想像力がなければ、猫の小判、豚に真珠です。



アメリカを発見した後、コロンブスは皆から「西に向けて船を出しさえすれば誰でもアメリカを発見できる」と言われたそうです。
滝みたいに落ちていると恐れ、誰も海の先に行こうとしなかった時代です。
それを聞いたコロンブスは卵を取り、これをテーブルに立てられる人がいるかと言いました。しかし、誰もおらず、卵のお尻を潰して立てて、想像力がないと最初のことは誰も出来ないと言ったのです。

ウソと思われるくらい、世間の常識と私のギャップは大きいです。
ウソと思う程のギャップなら、その価値は真珠や小判どころではないでしょう。
ウソと思われても、事実は事実として話しておかなければなりませんし、これがウソに見えるくらいなら尚更瘀血を科学的に解明する価値があるはずです。・・・

次に、黒岩先生が解明した吸玉の科学的な浄血原理について話します。

吸玉の浄血原理 皮膚呼吸

普段からカップングをしていると風邪をひかず、今私の療院に来られている方も、ほとんど風邪をひきません。しかし、カップングを始めたころは、風邪ひきの方がよく来られていました。昔は、インフルエンザも普通の風邪もあまり区別せず、正月明けには風邪ひきの方で混んだものでした。それでも、カップングすると、ひどい風邪でもてきめんによく治っていました。

カップングするとなぜてきめんに風邪が治るのかといえば、カップングすると多量の炭酸ガスが皮膚から抜けるからです。



冬は、体温を維持するために大量のエネルギーを使います。冬はじっとしててもマラソンをしているくらいエネルギーを使います。エネルギーを使うと、炭酸ガスが発生します。マラソンをすると疲れますが、それは、エネルギーを使って出た大量の炭酸ガスをすぐには処理できないからです。ですが、終わった後に休んでいると炭酸ガスが抜けていき、又元気が戻ります。

しかし、冬の疲れは冬の間中マラソンをしているようなもので、そのうえ年末年始の暴飲暴食が加わると、内臓はそれらの消化に追われ、さらにエネルギーを大量消費します。

・・・つまり、炭酸ガスが抜ける間がないわけです。ですから、正月明けには風邪をひくわけです。



炭酸ガスが溢れると、有酸素系のエネルギーは十分に働きません。・・・それは、ちょうど街の明かりが停電で消えるようなものです。しかし、カップングすると炭酸ガスが抜けて、全身の細胞の有酸素系のエネルギーが復活して、・・・ちょうど停電していた街の明かりが一斉に点くように、てきめんに風邪が治るわけです。私たちの細胞は、解糖系と有酸素系の2種類のエネルギーで活動をしています。

解糖系に酸素はいりませんが、有酸素系には必ず酸素が必要で、酸素がなくなると有酸素系のエネルギーは停止するのです。

それを端的に知るためには、息を止めてみるといいのです。

息を止めると途端に苦しくなり、苦しいのを我慢して息を止めていると死んでしまいます。

息を止めるとなぜ死ぬかといえば、たとえば、ガス欠すると車は動かなくなり、停電するとテレビは消えるように、息を止めるとガス欠や停電と同じようにエネルギーが停止するからです。



つまり、我々の生命活動は、解糖系より、ほとんど有酸素系のエネルギーで動いているわけです。

肺はそのために呼吸をして、全身の細胞に酸素を供給します。

肺と同じように皮膚も呼吸をしています。

ですが、同じ呼吸でも肺呼吸と皮膚呼吸には役割の違いがあるようです。

肺は、動脈から全身の細胞に酸素を供給しますが、皮膚には動脈のようなはっきりした器官がありません。

カップングをしていると、皮膚呼吸の働きは、・・・

動脈を使った肺呼吸では届きにくい**体の深部**や、酸素が届きにくくなっている**不活発な部分の呼吸の補助**をしている、・・・ように見えます。

皮膚呼吸は、動脈のように目には見えませんが、経絡によって内臓の奥深くとつながり、とくに皮膚呼吸の主な働きは、炭酸ガスの排出だと思います。

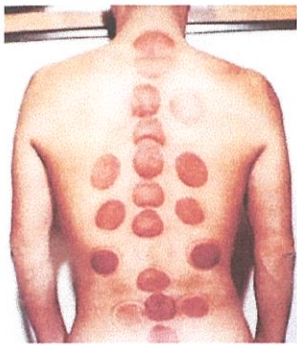
呼吸の基本は、まず息を吐くことです。息を吐きだせば無理なく息を吸うことが出来ます。

同じ理屈で、炭酸ガスが抜けると、不活発な部分や体の深部に酸素が浸透し、酸素が充分に行き渡ればミトコンドリアの有酸素エネルギーは活性化し、それまで不活発だった細胞も賦活するわけです。

カップリングがてきめんに効くのは、皮膚から炭酸ガスを抜くからで、・・・吸玉以外にそんなことが出来る治療法はなく、・・・

吸玉は皮膚呼吸の働きを盛んにできる唯一の療法 なのです。

色素反応

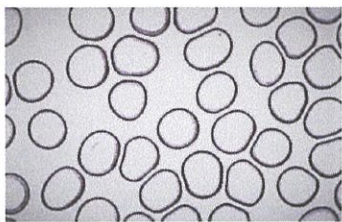


吸玉を、皮膚につけて残る丸い跡を、黒岩先生は「色素反応」と呼んでいます。これを見て、おおよその人は「うっ血」と思うようです。

しかし、これは体の中で循環できなくなった・・・瘀血（おけつ）です。背中にカップリングすると、人により、コップの跡に色の違いがでます。・・・

また、同じ一人の人でも、体の箇所によって、吸玉の付けた跡には違いが出ます。鮮やかな赤い色。くすんだ赤い色。紫がかった色。黒ずんだ色。黒い色・・・これは、本当に、墨汁みたいな色です。

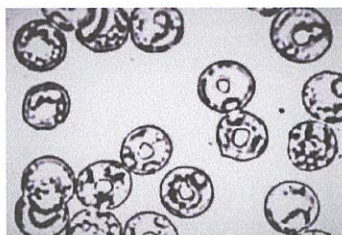
・・・また、跡がぜんぜん残らない箇所もどこかにあるかもしれません。



それを先生は「健康反応」か「虚の反応」かのどちらかとおっしゃっていました。

色素反応は、そのままよりも、カップリングを毎日の方が早く消えます。また、吸玉を続けると、色素反応があまり出なくなります。

ただの「うっ血」なら、カップリングすると、いつでも同じように「うっ血」するはずですが、実際は、カップリングを続けると、吸玉の跡は段々残らなくなります。



色素反応が単なるうっ血でないことは、瘀血を採取して顕微鏡観察すると確認できます。・・・

左の上の写真のように、血管を流れる正常な血液の赤血球はきれいです。

が、・・・下の写真のように、吸玉で皮膚に出てくる瘀血の赤血球は歪な形をしています。

吸玉の跡にかすかな傷をつけて瘀血を出す方法は、大昔から世界中の人がやってきた最もポピュラーな治療法です。

しかし、科学を尊重するという人ほど、これを野蛮と決めつけます。・・・

科学を重んじるなら、ぜひ科学的検証をしてほしいです。

水疱反応



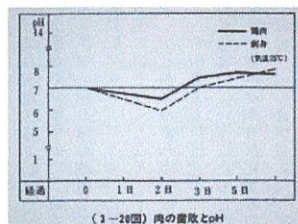
体の中に瘀血があれば、吸玉を皮膚に付けたままにして時間が経つと、水疱の粒があらわれます。・・・

この粒の液を調べると、pH、LDH、電解質組成、赤血球像など、血管を流れる血液とも、細胞内液とも異なります。

特にpH値の異常です。・・・

正常な血液は、pH 7.35～7.45の弱アルカリ性ですが、**水疱液は強いアルカリ性**です。（ほとんどpH 8以上）

血液は、動脈の血液よりも静脈の血液の方がわずかに酸性化しています。
それは、静脈血は全身を循環する間に炭酸ガスや老廃物を回収して汚れているからです。
しかし、その差はわずかに0.1程で、水疱液（瘀血）の値の異常は際立っています。



たとえば、図のように・・・新鮮な鶏肉と刺身は、pHが弱アルカリ性です。
しかし、2日もたつと酸性に傾き（夏は、冬より早い）pH 6.5位になり、
・・・

それから、一転してアルカリに傾き、・・・
5日頃にはpH 8位の強アルカリになって、・・・肉は悪臭を放ちながら腐敗していきます。

体質が悪化すると血液は汚れ、汚れが進むと、汚血は体の中で腐敗していくのです。・・・

そんな馬鹿な・・・とおっしゃるかもしれませんが、実際に吸玉で体から出る瘀血は腐っているのです。
信じられない方は、瘀血を出して確認していただきたいです。

カップリングは、吸圧して皮膚に吸玉を付けたり外したりしますから、カップリング独特のマッサージ効果があります。
又、カップリングは皮膚呼吸をさかんにする、吸玉にしかない治療効果があります。
そして、カップリングは体内に籠った瘀血を皮膚で解消し、体の奥から血の巡りをよくする吸玉だけの治療効果があります。
通常のカップリングでも自覚症状はよくとれ、病気もよく治ります。・・・

しかし、自覚症状や病気が慢性化して頑固になって治りにくい場合は、黒岩先生は、水疱治療を勧めていました。



先生はご自身の結核を治すとき、通常の治療だけでなく、直接瘀血も出していました。
それは、大昔から今でも世界中でやっている方法で、それを先生は「瀉血」と呼んでいました。

しかし、その言い方が後で誤解を招く原因になったようです。
カップリングで出るのは、悪血・汚血・古血・腐血であり、・・・血管から出す瀉血と違い、分析しさえすれば水疱治療も含めて瘀血だと分かります。
しかし、科学にこだわる人ほど、カップリングの瘀血を“血”だと言って、分析もしないで、見た目の印象だけで非難します。

・・・これは科学ではありません。見るだけの印象なら、今も天が動いています。

吸玉療法では、人類は大昔から直接瘀血を出す治療もやっていました。・・・そして、それを黒岩先生はさらに進化させ、「水疱治療」として発展させました。

日本の高度成長期には公害による難病者が溢れていました。・・・先生は、頑固な病気は瘀血を繰り返し出さないと治らないと説き、繰り返し出しても瘀血の水成分の水疱は、体に負担をかけないで治療ができると説いていたのです。

しかし、これは血と言って、規制されました・・・

見かけの印象ではなく、ぜひ科学的に分析をして、現代人が苦しむ寝たきりや痴呆症やがんや脳血管障害、心臓病や腎臓病、そしてアレルギーやうつ病や原因不明の病気に活用してほしいです。・・・

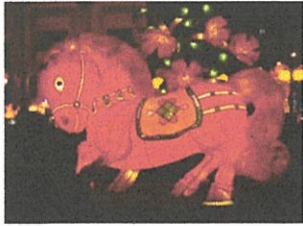


カップリングは、風邪にもインフルエンザにもいいという話をしました。
普段からカップリングをしているとインフルエンザを含めて風邪をひかなくなり、風邪をひかなくなるということが吸玉療法の大きな特徴です。

風邪をひかなくなるということは、免疫が強くなるということで、吸玉をすると、バイキンにもウイルスにも負けない強い免疫力を獲得できるわけです。

先生が解明した吸玉の浄血原理は、片瀬博士の「弱アルカリ性の血液の中では病原菌は決して生存できない」とする「酸塩基平衡の学説」の実証でもあったのです。

令和4年の今、新型コロナ禍で世界中大混乱ですが、その前にもノロやデング、エボラ、ジカといったウイルス性の感染症が世界を騒がせ、なにか現代人の免疫機構は弱体化しているように見えます。



世界を騒がせたといえ、数年前はSARSで、その前はエイズ、その前はB型肝炎で、やはりウイルス性の病気です。

実は、「可能性を探る」で紹介した慢性肝炎の方はB型肝炎でした。・・・

日本でB型肝炎ウイルスのキャリアは150万人いるといわれています。

その1割が肝炎になりますが、そのうち95%は自然治癒して、慢性化するのは5%だといえます。・・・

ということは、元々キャリアでも発病は少なく、発病しても「自然治癒95%」対「慢性化5%」の割合から見ると、ウイルスよりも、免疫が弱いという別の原因が大きく見えてきます。

病気に対して、免疫が強力な対抗手段なら、殺菌だけでなく免疫の強化も考えるべきです。

吸玉は免疫を強化する！・・・この研究を進めるためにも、公による瘀血の科学的検証が必要です。



先生は結核を治した後、浄血原理や治療のやり方を研究し、吸玉を「真空浄血療法」という新しい治療法として普及を始めました。

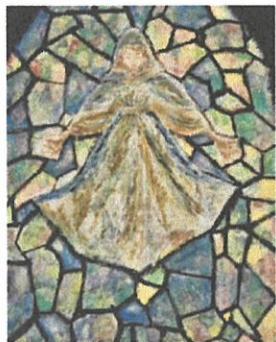
吸玉は元々大昔からあり、今でも世界中にあります。ほとんど科学的検証もないまま使い方も使う目的も曖昧なままやられており、誤解や偏見も多いのです。・・・

・・・そんな吸玉を、先生はご自身が結核を治した経験から「病気を治すため」と目的を絞り込んで普及を始めました。

しかし、それは先生の思惑とは逆に進み、「病気が治る」と言えば言うほど圧倒的な財源を誇る国の制度と比較され、非難されるようになりました。・・・

知識人も、専門家も、患者も、見かけだけでいかがわしい野蛮な治療といい、治るなら証拠をだせと迫ります。

そして、治癒例を話すと、とたんにウソという目になり、浄血原理を説くと「そんないいものなら、なぜ世の中に広がらないか」と皮肉られます。・・・



・・・わたしは、嘆いているわけではありません。

私は40年間以上、誰もがウソという治癒例に向き合い、この事実をどう扱うべきか思いあぐねているのです。・・・どう話せば信じてもらえるのか、どう説けばいいのか・・・

コロンブスは新大陸を発見した後に、皆に「西に向けて船を出せば、誰でもアメリカを発見できる」と皮肉られたそうです。

実際に存在するものでも、その存在を皆が知らなければ存在しないも同然です。・・・皮肉を云われたとしても、コロンブスのおかげで、人類は全く新しい世界を知ることになったわけです。

皆がウソと思うほどのことが、瘀血を分析さえすれば分かります。・・・一人でもいいのです。コロンブスのように一歩踏み出してほしい。・・・

瘀血の存在を皆知れば、カップリングの応用も広がります。・・・

⇒⇒ **どんどん治る！ 黒岩式吸玉療法** 〜続きます

③

どんどん治る！ 黒岩式吸玉療法



どんどん治る！ というのが真空浄血療法・・・黒岩式吸玉療法の印象です。

心臓の手術後に縦隔腫瘍を併発した方が、ものすごく具合悪いとってカップリングに来られました。

元々こりや痛みがあると来られていた方で、いつものようにカップリングするとすぐに楽になり、タクシーで来たのに帰りはバスで帰れたとおっしゃっていました。

そして、カップリングをしてるうちに腫瘍が縮小し、10か月後には消えてしまい、心臓までよくなってしまい、大学病院の先生方々がビックリされていたそうです。・・・



ペースメーカーの埋め込み手術のベッド待ちの間にカップリングをしたら、心臓が治ってしまっ、手術しないで済んだ方もおられます。・・・

心臓弁膜症を治した方も、パーキンソン病を治した方もおられます。・・・どちらも、難病です！

しかし、カップリングするのは辛い自覚症状があるからで、病気はたまたまが治っただけで、病気を治すためにカップリングする方はほとんどいないのです。

それに、どんどん治ればお客さんも増えるかと思いますが、そんなことはなく、経済的にはずっと苦しく、特に黒岩先生が作り上げた健康医学社が破産したときには最悪でした。



そんな折、あるご家族がうつ病の方を伴って来られました。

今うつ病は増えていて、家族を巻き込んで苦しむ方も増えていますが、このご家族は吸玉でうつ病を克服できたのです。

そして、それができたのは、むかし吸玉で命がけの大病を治した経験があり、吸玉をすれば病気が治るという“共通認識”がこのご家族にはあったからです。

同じ認識を世界中に共有してもらいたい・・・

そのためには、公の後押しがぜひ必要です・・・もう、個人の力では限界です。・・・

未病

東洋医学の“未病”には、自覚症状があるのに検査に異常がない場合と、検査に異常があるのに自覚症状がない場合があります。

前者の場合は、病気を自力で治そうとする自然治癒力の活発な状態で、後者は、自然治癒力が衰えた状態です。



誰でも、年に1度くらいは、普通に風邪をひきます。

風邪をひくと、咳やくしゃみや鼻水が出て、悪寒がし、発熱、発汗、下痢や食欲不振、倦怠感、咽や頭などの痛みがでます。

そんな、誰もが年に一度はかかる“普通の病気”でも、体が自身を治すときには、そのくらい大げさで賑やかな自覚症状を出します。

一度薬を飲まずに風邪を治してみてください。自然治癒力の確認ができるとおもいます。

自覚症状があっても、病気が治れば自覚症状はとれるものです。

又、まだ病気でない“未病”でも自覚症状は出ます。しかし、体が自身の修復を終えると自覚症状は自然にとれるものです。

薬を飲もうが飲ままいが、体に修復する力さえあれば自覚症状は自然にとれるものです。

しかし、体に修復力がなくなれば、自覚症状は簡単にはとれなくなります。

テレビで見たケースですが、自覚症状があるのに検査では異常がなく、どこの病院に行っても原因が分からず、何年も苦しんだ挙句、ある特殊な病気の専門医師に巡り合っ、ようやく病気の特定ができた・・・しかし、治療法はまだ確立されておらず、緩和薬で一息ついた・・・という内容でした。



しかし、吸玉の浄血原理でみると、最初の頃は、まだ病気ではない“未病”の段階だと考えられるのです。

そして、その段階で自覚症状をとれば、特別な病気にもならず済んだとおもわれるのです。

平成27年の9月に、疲労感が段々ひどくなり、検査をしたら尿に潜血反応が出たという方が来られました。

疲れやすいのは、歳だから仕方ないといわれ、仕事も止めようか思案中だとおっしゃっていました。

しかし、カップングをすると疲れがとれ、潜血反応もなくなりました。

そして、健康法として続けていましたが、翌年の夏の例年にない猛暑でも疲れずに仕事ができると云って、大変喜んでました。・・・

この方は、介護ヘルパーをされている60代の方です。

元気で介護の仕事の続けるか、弱って介護される側に回るかの違いは大きいです。

そして、自覚症状の中でも“**疲れ**”の**解消が、未病を治す**ためには特に重要です。



私の子供の頃はまだ食料が乏しく、冷蔵庫もない頃で、おなかが空いていると少々傷んだものでも食べてしまい、よくおなかを壊していたものです。

傷んでも野菜はそれほどないですが肉になると、食べた途端トイレを往復する羽目になりました。

ところが、心臓病やがんは、肉を30年も40年も食べ続けた結果の生活習慣病なのです。

ストレスや運動不足や喫煙なども長年の蓄積が生活習慣病の原因で、食べた途端劇的に起こるような病気とは別物なのです。

そして、病気が起こったとしても、病気が起こる前は病気の準備段階で、まだ病気ではないのです。・・・東洋医学の“未病”はこの時期の自覚症状を指すわけで、未病を治すということは、これから起こるかもしれない病気を予防することになるわけです。



打撲の項で話した、二階から転げ落ちた方は、その5年前に前立腺の肥大と腫瘍をカップングで治していました。

そして、その後もカップングを続けていました。・・・

普段からカップングをしていると、打撲をしても打撲がとても早く治ります。そして、打撲だけでなく、普段からカップングをしていると、自覚症状が出て、自覚症状がとても早く治ります。

大病を治した後に、健康法として吸玉を続ける方がいますが、そんな方々が、80歳を迎えるときに「80になる」とわざわざ断りを云われます。そして、この方もそうでした。

70のときにそんなことはないので、80を迎えることは、健康に不安を抱くことなのかもしれません。



しかし、健康法でカップングを続けると、80代はメチャクチャ元気です。ほとんど70代とも60代とも変わりません。

それは、カップングをすると、普段の小さな自覚症状をそのつど取って、・・・

まだ軽い、**初期の自覚症状をそれ以上拡大させない**で済むからです。・・・これが、大きいのです。そして、これが、未病を治すということなのです。

この方は健康のために吸玉を続け、仕事も現役で続け、元気な80代を送られたのです。

ところが、90になると、この方はカップリングから遠ざかるようになり、それにもない体調不良を訴えるようになりました。見かねて話をしてみると、・・・

「いつまでもそんなものをしてたら、動けなくなっても世話してあげない」と娘さんにいわれるそうです。

“そんなもの”とは吸玉のことですが、長いこと続けていても、90になると皆さん申し合わせたようにカップリングをやめてしまいます。

勿論皆さん同じ理由ではないでしょうが、私は改めて世間の吸玉に対する偏見の強さにショックを受けたものです。



リオオリンピックで、吸玉の丸い跡を付けて水泳に出た金メダリストのフェルプス選手が話題になりました。

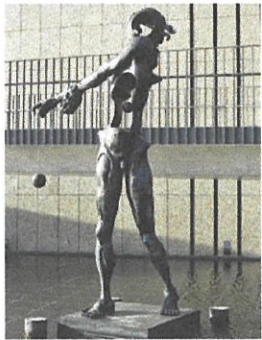
それを見て、カップリングに興味を持つ人もあったでしょう・・・

ところが、それに関連したアメリカの記事がネットに出ていて、大変驚きました。・・・著名科学ブロガーのオラクという人の投稿文を引用して、・・・

カップリングによる吸引は、毛細血管を破壊する。カップ形のあざができるのは、これが理由だ。・・・

また、カップリングを同じ部位に繰り返し施すと皮膚が破壊され、危険な感染症につながる恐れがある。

・・・と、ほとんど吸玉の見た目だけの印象による記事なのです。



しかし、これが一般的な印象で、見た目だけで吸玉は野蛮ないかがわしい治療といわれます。

オリンピックなどの放送では、競技を分かりやすく解説する解説者がいます。その解説者は、大概その道を究めた人です。

たとえば、水泳なら、一度泳いだことのあるとか、体操なら、鉄棒で逆上がりをしたことがあるとか、その程度の経験しかない人がオリンピックの解説をしているわけではありません。

何かについてもものが言えるのは、それに精通しているからで、吸玉においては自分でやったことも触ったこともない人が、写真や映像を見ただけの印象で発言して、それが結構世間にまかり通るのです。

なぜかといえば、云う方も聞く方も吸玉を知らず関心もなく、無責任な発言をしても誰からも非難されないからです。

プラセボ効果

プラセボ効果というのをご存知でしょうか？

薬効成分を含まない偽物の薬（プラセボ）でも“治ると信じて”飲めば病気が治ってしまうのです。

実は、私は、この逆パターンで随分悩まされてきました。

私の療院では、カップリングを始めるときに、あらかじめ自覚症状を記入していただきます。

それは、カップリングして治ると、自覚症状があったことも忘れる人が多いからです。

吸玉の仕事を始めたばかりの頃の話ですが、・・・

首や肩や背中、胸、右腕、膝、ふくらはぎ、左太ももの外側に痛みやこりがあり、・・・加えて、体が疲れてだるい、根気がなく気力がない、寝つきが悪く朝起きづらい、動悸がしてめまいがする、頭痛がして頭が重い、物忘れする。

と、これだけの自覚症状を抱える方でした。



カップリングを始めるときには、まず体調をうかがいますが、この方はいつも「変わらない」とおっしゃいます。

なので、3回目くらいのとき、最初に申告されていた自覚症状の一つひとつ読み上げてみたのです・・・

「体の疲れはどうですか？」と伺いますと、・・・「疲れません」と。・・・「寝つきはどうですか?」、「いいです」。・・・めまいは？ 首筋のこりは？ ?・・・。?・・・

結局、全部良くなっているのです。そして良くなって、それを忘れていることを、ご本人が一番ビックリされるのです。

カップングをすると、ほとんどの方は自覚症状があったことも忘れます。ですが、これだけ治っているのにすべて忘れるという驚きの事実があり、そして、これが逆パターンのプラセボなのです。

ほとんどの方は「こんなもので治るわけがない」と思いながらカップングをされます。



ですから、たとえ治っても治った実感を伴わないのです。信じて飲めば、偽物でも病気が治る反面、“治るわけがない” と思ってやる治療は治っても治った実感を伴わない。・・・つまり、“治る” と信じるプラセボ効果は30%あるといわれていますが、それなら、その逆も30%。それを合わせて、信じるか疑うかのプラセボの差は実に60%になると思われるのです。

そして、私はこの逆プラセボに、実に40年以上も悪戦苦闘させられてきたのです。説明を尽くしても信じようとしないうばかりか、実際の治療でもこうなのです。

カップングをしていて一番大変なことは、吸玉をしてくれる人がいないことです。ようやくしてくれても、周りの「そんなもので治るなら、医者はいらん」との一言でやめてしまいます。

この“医者はいらん” とは、“非科学的” ということを示しているのです。



平成28年6月に、全身が痛むとって顎関節症の方が来られました。特に肩から首の筋肉は勝手に動くような辛い自覚症状があり、この2年間いいといわれる病院を探しては通い入院しますが、悪化する一方だといっています。

肩から首の症状は食事で咀嚼するとのぼせるようにひどくなり、最近は食欲も落ちてガリガリに痩せてきたそうです。

顎関節症というより難病かとおもわれるくらいで、最初この方は親の付き添いでなんとかカップングにも来られていました。



しかし、カップングするところや痛みが楽になり、一月もすると、血圧が上がるような発作も軽くなり、そして、その頃から付き添いがいらなくなり一人でタクシーに乗って来られるようになりました。

そして、それから10日もすると今度はバスにも乗られるくらいに症状が楽になり、食事もとれるようになって、痩せていた体重が7キロ増えたとおっしゃるくらいになりました。そして、それから半月くらいでご自分で車を運転して来れるくらいになったのです。・・・

まだ、こりや痛みや、筋肉が勝手に動くような自覚症状も残っていましたが・・・

しかし、この経過から、まだ治りきってないにしても、かなり治りかけているように見えますが、・・・

この方は、この頃から又病院探しを始めたのです。

それは2年間もやって悪化する一方だったのでは・・・それに、吸玉を始めてまだわずか2か月です・・・

と、もうなにを言っても無駄なのです。・・・

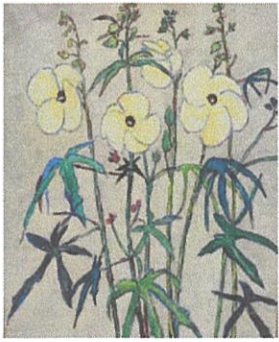
現代人にとって、病気を治すイメージは、学校の教育から始まり、本や新聞、映画やテレビなどでくり返し繰り返し強固に作り上げられていて、吸玉はそのイメージからは相当かけ離れているようなのです。

それに、普段よくかかる病気といえば風邪ですが、薬を飲むととたんに痛みがとれて熱がひきます。

この風邪ひきの、てきめんになる経験を繰り返すと、慢性化した病気を治すことが難しくなるようなのです。

病気は慢性化すると、薬を飲んだ途端てきめん治ることなどありません。

風邪でも、一旦ひくとなかなか治らなくなります。



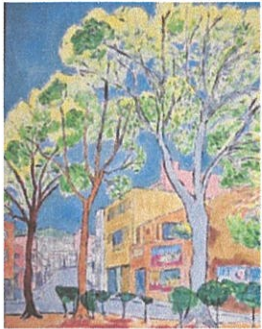
風邪薬ができれば、ノーベル賞ものだと思いますが、実は、風邪を治す薬はないのです。

では、なぜ風邪が治るのかというと、薬は中枢神経に作用して痛みや熱を一時的に緩和しているだけで、実際に風邪を治しているのは体自身なのです。

ですから、体質が悪化して、体自身の治癒力が落ちると、自覚症状を薬で緩和している間に体が病気を治すことが完了できなくなり、薬が切れると、また痛みや熱がぶり返してくるわけです。

もし、風邪を治す薬があれば、新型コロナも病気の人だけ薬を飲めば済みます。

しかし、実際は、風邪を治す薬がないので、まだ病気でない人も、世界中の人がワクチンを打たなければならないわけです。



また、こんなこともあります・・・

横浜の姉が、毎月長崎まで通ってきて、4度目の再発の乳がんを吸玉で治しました。ところが、まわりの心ない一言でやる気をなくします。

生活習慣病は一過性の病気と違い、根っこまでしっかり治さないと治ったとはいえない病気です。

姉も最初、電車のドアに挟まれて、打撲と骨折（吸玉は打撲も骨折もよく治す）をカップリングで治し、治療を続けて乳がんも治し、圧迫骨折が起きるくらい悪化していた骨粗鬆症も治したのです。・・・

ですが、辛い自覚症状がとれると、ほとんどの人は現代人に戻ります。



現代人の病気のイメージは、バイキンから離れることができません。そして、病気は薬で簡単に治る思い込みからも抜けられません。

生活習慣病は、特定の病原菌で起きる一過性の病気とは違い、30年も40年も生活習慣の歪が積み上がって起こる病気です。

病気が起っても、慢性的にゆっくり進行しますし、歪が目一杯になると行き詰り、すぐに命がけになりますし、認知症や寝たきりになると自立した生活も出来なくなります。

生活習慣病を例えるなら、・・・

降り積もる雪の重みで家が潰れるような病気です。又、長い期間地下にひずみが溜まり続けて、やがて地震が起きるような病気です。・・・



生活習慣病は、病気が起こる前に長い準備期間があります。・・・

その期間は、まだ病気ではないとしても自覚症状が出やすくなり、・・・準備期間が長くなるほど自覚症状は慢性化しやすくなり、・・・病気が起こると、同時多発的に合併症が出やすくなります。

生活習慣病の歪の一つといわれる動物性脂肪も、長年摂ると乳がんや肺がん、前立腺がんや大腸がんを起こすといわれます。・・・

これらのガンに70歳でなったとしましょう。・・・この場合、子供の頃からほぼ70年間肉を食べ続けた結果の病気ですから、すでに子供時代から病気の原因を積み上げていることになります。・・・

70歳前の病気の準備期間は、まだ病気ではないとしても病気の原因の歪を積み上げているわけですから、何もないわけではなく、自覚症状が出やすいのです。・・・

病気の原因を積み上げて、10年、20年はまだ自覚症状もほとんどないでしょう。・・・

しかし、30、40年もすると、・・・

特別な原因もなく寝違えみみたいな痛みが出たり、脚がつったり、又、疲れやすさや、風邪ひきやすさを感じるなど自覚症状が出やすくなります。・・・ただ、この時期の自覚症状は時間が経つとおさまり、それほど気になることなどない

かもしれません。しかし、・・・歪を積み上げて50年もすると、出てくる自覚症状が頑固になり、60年もすると、自覚症状が取れにくくなり、そして歪が目一杯になって行き詰まると、70歳でのガンの発症となるわけです。・・・



過労でもガンになりますが、寝ずに仕事を続けるみたいな無茶をすると、10年、20年の短い期間でガンになることもあります。

しかし、こんな場合、思い切り休養をとるだけでガンが治ることもあるのは、・・・生活習慣病は、病原菌によって起っているわけではなく、生活習慣の歪の積み上げでなっているからです。

浴びるほどの酒飲みが、お酒を断つだけでガンが治ることもあります。又、長年のハードなデスクワークで運動不足した人が山登りをしてみたら癌が治ってしまったということもあるわけです。・・・

新型コロナに感染して重症化して死亡することがあります。しかし、この場合の経過期間は数日でしかないのです。・・・こんな一過性の病気のイメージを持ったまま生活習慣を治そうとしても、治せるはずないのです。



歪の蓄積している初期のころは、どんな薬を飲んでも飲まなくても、どんな健康法をしてもしなくても、病気や自覚症状は治ります。

しかし、歪が蓄積すればするほど、何をしてもどんなにしても治らなくなってくるのです。・・・こんなときこそ瘀血の解消なのです！・・・

瘀血を科学的に視ると、生活習慣病の“歪の蓄積の可視化”が可能になります。

生活習慣病は、病原菌による一過性の病気ではないのです。・・・

そして、人の体のすべては、血の巡りにより運営・維持されていることを忘れてはなりません。

吸玉は見た目だけで敬遠されます。そのうえ他のマイナスイメージが加わると、途端に客足は遠のきます。これまで仕事場が火事になったときも大変でしたが、健康医学社が破産したときも大変でした。しかし、もうだめかと思うときには不思議に助けてくれる方が現れます。

私の療院では、健康保険並みのご負担で済むようにと、ずっと会員制でやってきました。それは、販売店を親と一緒に始め、療院の開設も実家の一室でやれたからです。



しかし、料金を低く設定していたことで、火事の後に別に店舗を借りなければならなくなったときには困りました。

60%の逆プラセボを考えると、料金の値上げなどできません。

そして、追い打ちをかける健康医学社の破産です。・・・

これまで無理を続けて私も歳になり、財産を処分して借金を清算し、一度住んでみたかった「京都にでも行くか・・・」と弱音を漏らしました・・・

しかし「それは、困る」とおっしゃる方が、新規の方を次々に紹介してくれたのです。

しかも、その新規の方々は過剰な科学を好まず、吸玉を治療として前向きに捉えてくれ、ですから、プラセボ効果が良い方に働き、治り方が良いのです。たとえば、・・・



おなかが痛いという方でしたが、次に来られた時にはもう治ってしまい、しかも長年悩んできたアトピーまで治ったというのです。

私は「エーッ！」と言い、おなかは分かっても、慢性的なアトピーが一度で治るのは驚きです。・・・

しかし、それから半年後に来られた時も、アトピーはあれ以来すっかり治ったとおっしゃったのです。

「治る、治る」と療院内が活気づくと、プラセボ効果が更によい方に向き、他の方々の治りも良くなるのはこれまでもあることでした。・・・

リウマチの項で話した方も、そんな時の方です。・・・

歩けないほどの激痛が1回の治療で歩けるようになり、200の炎症度が2週間で半分になり、2か月も経たない検査でもうリウマチが治っていると、大学病院で太鼓判を押されたのです。



アトピーもリウマチも決して単純な病気ではありません。

治療は、まず信じる事。そして、発病したらできるだけ早く治療を始めることが大切です。

みかねて、苦しむ方に勧めてみますが、なかなか信じてもらえません。「今の治療でダメなら」とやんわり断られます。

しかし、痛みも含めて自覚症状は、自然治癒力が活性化している状態でもあります。ですから、薬で自覚症状だけ抑えると自然治癒力は萎えてしまい、あてなく薬を続けると病気はこじれてしまいます。



こんな、こじれて、もう何ともし難い人しか吸玉はしません。そして、萎えて、僅かに残った自然治癒力を頼りに、苦心惨憺してカップングしてきたのが私の40年です。

しかし、信じてもらい、発病からすぐに、まだ自然治癒力が旺盛なときにはこんなにも治るんだと、私は改めて吸玉の威力を実感したものでした。

吸玉の浄血原理は、強いアルカリ性の「**瘀血が血行を阻害している**」と明確です。

瘀血は手に取り見ることもできます。また、科学的に分析することも出来ます。

この研究をすすめ、生活習慣病の根本治療に応用し、原因のはっきりしない病気にも応用すべきだと思います。

真空浄血療法・・・黒岩式吸玉療法

私は黒岩先生を師と仰ぎ、ガンコな自覚症状や病気をいかに治すか・・・という、病気の治療目的で吸玉の研究をずっと40年以上続けてきました。

やり方さえ間違えなければ、吸玉は生まれたての赤ちゃんから、白寿を超えた方にもできます。



先に述べたように、黒岩式吸玉療法は重症の心臓病の方にも出来ますし、妊婦さんにもできます。むしろ、カップングはお産のためにもとてもいい治療法だと思います。

元々吸玉をしたいと思う方は滅多になく、神経質になる妊婦さんなら尚更で、それでも辛い病気を治し、懐妊後も体調維持のために続けていたら、お産が大変軽かったという例はいくつかあり、例としては多くないにしても、吸玉は安産のためにも大変効果的だとおもいます。

また、子供がなかなかできないという方も、カップングをしたとたん赤ちゃんができて「え！」と驚いた経験も何度かあり、・・・吸玉がもっと広く受け入れられて研究されれば、もっと驚きの例も出てくるとおもいます。



やり方さえ問題なければ、吸玉は赤ちゃんにも出来ます。

たとえば、夜泣きする赤ちゃんやいつも機嫌の悪い赤ちゃんは病気ではなくても体調の悪い「未病」の場合があり、そんな赤ちゃんにカップングをしてあげると機嫌よく健やかに育つようになります。

カップングをしていると、健康を、五臓六腑の器官単位というより、細胞単位で見る方がいいように感じます。

我々の体は、60兆個の細胞の集まりで出来ています。

そして、60兆個の細胞には、1個々々独立して生命活動が出来るほどの精巧なシステムが組み込まれており、我々は60兆個の命の集合体で成り立っています。

今地球上では、国民がバラバラになって紛争の絶えない国があります。

しかし、国が豊かに発展するには、国民一人ひとりが一丸となって働く必要があります、吸玉による病気の治り方は、それまでバラバラだった細胞1個々々の命に火が付き、60兆個の細胞が一丸となって元気になっていくように感じます。



テレビ番組の凄ワザに出てくるような町工場の職人が、ミリ単位以下の精密加工をカンだけでやって見せることがあります。

また、オリンピックの、たとえば体操や卓球などのとても人間業とは思えない演技やプレーなども、60兆個もの細胞の総合力だからこそ実現できることです。

車の部品数は3万点、航空機は100万点ほど。その、部品を寄せ集めて作られた機械の能力は、それ以上でもそれ以下でもなく可能性は限られています。

しかし、勘だけで精密加工を人が出来るのは、人が平均300分の1ミリの細胞の60兆個もの命の集まりで成り立っているからで、その細胞1個々々の精度を上げ磨き上げれば、体操の神業的な演技や卓球の超高速プレーさえ可能にする力を秘めています。



カッピングをやっていると、びっくりするような病気の治り方を見るのがよくあります。そんな、人の潜在能力の高さ底知れなさは常々よく感じることです。

他にもカッピングしていて感じることは多く、たとえば、吸玉は認知症にもいいとおもいますが、頭そのものを良くするためにもいいと感じています。

繰り返し一句々々記憶する暗記も、カッピングすると教科書のページを丸ごとコピーするような暗記ができるとおっしゃる方もいました。・・・

しかし、まだ私の施術例は充分ではなく、吸玉の浄血原理をさらに解明して、そんな研究も進めてみたら面白いとおもいます。

今人類は、ジャングルの奥地に、深海の奥底に、あるいは宇宙に向かい、治癒困難な病気の秘薬を求めています。

しかし、健康で長寿を全うする人をご覧ください。そんな特別な秘薬を飲んで健康や長寿を維持しているわけではありません。日々普通の食事をして、普通の生活をしているだけです。

もし、治癒困難な病気に不足しているものがあるとすれば、ジャングルや深海や宇宙にしかないような特別な薬ではなく、普通の食事をした栄養が全身の細胞に行き渡るための“血の巡り”なのです。



我々の体細胞は、一秒間に3百万個が入れ替わり、衰え古くなった細胞は、常時更新されています。

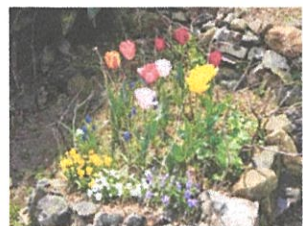
そして、新陳代謝で更新される細胞は、たとえば、60歳なら60の、80歳なら80の、年相応のよれよれの細胞が生まれてくるのかといえ、そうではなく、

60でも80でも、更新される細胞は、生まれたての赤ちゃんと変わりのない真新しいピカピカの細胞が生まれてくるのです。・・・

吸玉は、アンチエイジングというより、**究極の若返り法!** です。

また、代替医療ではなく、独立した原理に基づく**浄血医学**です。

アッ!と驚く新世界



令和3年に公表された国民の医療費は44兆円を超え、介護費用も11兆円に迫る勢いです。

国民負担はすでに限界を超えているのに、超高齢化社会はさらに進行中です。

・・・この先どうなるのか? ・・・

とにかく、健康年齢を引き上げることです。

その切り札が、組織内に停滞する強アルカリ性の血液(瘀血)の解消です。・・・



“瘀血”の科学的な分析は、中学か高校でいどの学力・設備で十分できます。吸玉の瘀血を科学的に世界が認識して評価すれば、その衝撃はコロンブスの新大陸発見以上！かと考えます。
人類が、地動説を認めて大躍進したように、今新しい躍進が始まると思います。

ただ、私は、世に問う術も手立ても持ちません。・・・

“瘀血”の封を解いて発信のできる方・・・ぜひ助けていただきたいです・・・

公の機関の方、マスコミ関係の方々、公務員、議員の方々、知識人、教育関係、医療関係の方々、・・・

・・・その周りの方々も、働きかけていただきたいです・・・

“瘀血”を科学的に分析する・・・それだけで、アッと驚く新世界が開けます！

※記事は、分かりやすくするために、吸玉の施術を治療と表現しています。



「21世紀の健康」というタイトルで吸玉療法の記事を書き始めたのは、20世紀末の、まだ21世紀になる10年前くらいのことでした。

そして、そのタイトルに込めたものは未来への希望や夢です。

・・・感謝

令和4年8月18日

黒岩式吸玉・真空浄血療法研究会・・・21世紀の健康を考える会

浜口カッピング療院 濱口哲二

長崎県長崎市油木町34-5 TEL 095-843-7397

以上は、吸玉のホームページの記事です。

ぜひ、ホームページもご覧ください。

<https://sites.google.com/view/hamacup>

スマホ
検索QRコード

